

自己資本の状況

■ 自己資本の充実度に関する評価方法の概要

当J Aは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより自己資本比率を正確に算出し、当J Aが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、財務基盤強化のため内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的または量的に評価し、リスクを総体的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っております。

■ 自己資本調達手段の概要

当J Aでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。

当J Aの自己資本は、組合員からの出資による資本調達額（2,080百万円）、毎事業年度の剰余金からの内部留保等により調達しています。その結果、平成22年2月末における自己資本比率は、16.19%となりました。

なお、当J Aの自己資本に関する詳細については、59ページ以降の「自己資本の充実の状況」をご覧ください。